

三重県総合図上訓練企画運営・災害対策本部活動検証業務委託 質問及び回答

番号	質問	回答
1	<p>「4（1）訓練場所：三重県庁内」とありますが、常設の災害対策本部室等（事務局や各部局並びに関係機関リエゾン等が執務する場所）があり、その場所に訓練参加者が全員集合して訓練を行うようなイメージでよろしいでしょうか。</p>	<p>スペースの都合上、常設の災害対策室で配備要員全員が活動することは困難であるため、一部部隊は災害対策室へ集合しますが、一部部隊は部隊または班ごとに県庁講堂・各階会議室等で活動することになります。</p>
2	<p>「4（2）訓練時期・回数、（3）訓練想定」について、大規模地震想定<small>の訓練</small>と風水害想定<small>の訓練</small>の実施順序は、決定していますか。また、訓練日は平日か休日か（できれば具体的な実施日）、訓練時間のボリュームは、どの程度（何時間）を想定されていますか。</p>	<p>想定災害は、9月を大規模地震、2月を風水害として予定しています。訓練は平日に行い、9月1日（予備日9月13日）、2月2日（予備日未定）を候補日として検討しています。訓練時間は、最大で8時30分から16時までの予定です。</p>
3	<p>「4（5）訓練参加予定者」について、県職員の参加概数、国の機関、防災関係機関、市町等の参加者の概数はどの程度でしょうか。また、関西広域連合との関係はどうでしょうか。県知事様はご参加になりますか。</p>	<p>令和4年度第1回三重県総合図上訓練の訓練参加者は、知事を含め331人（県254人、市町32人、関係機関45人）でした。これまでは県内の関係機関を中心に図上訓練を実施しており、関西広域連合には参加依頼を行っていません。</p>
4	<p>「5（1）企画・準備、（2）作成支援」について、仕様書に記載のある様々な資料等について、貴県がこれまでの訓練で使用されている資料を最大限活用することは可能でしょうか。また、新規作成のお考えがある資料はありますか。状況付与資料（例えば状況付与カード）は、当社様式を使用することが可能でしょうか。</p>	<p>過去の訓練資料等は提供可能です。作成資料の内容についてはご提案いただければと思います。資料の様式の指定はありませんので、状況付与資料を含めて貴社様式を使用していただいても構いません。令和4年度第1回では、107件の状況付与を作成しています。</p>

	状況付与の概ねの件数について、その数量を教えてください。	
5	「5（3）事前説明会・全体研修会の実施」について、それぞれの訓練の約2か月前と、実施時期がかなり早いように感じますが、時期的な変更は可能でしょうか。また、コントローラーの説明会は、いかがお考えでしょうか。	事前説明会・全体研修会を受けて、部隊別勉強会の実施につなげていくため、7月上旬及び12月上旬を設定しています。 各市町・関係機関のコントローラーに対しては、事前説明会と同日に1回、状況付与確定後（8月及び1月）に1回程度必要になるかと想定しています。
6	「5（4）部隊別勉強会」については、同じ日（時間）に同じ場所（県庁内）で行うというイメージでよろしいでしょうか。 勉強会の時間的なボリュームや実施内容について、イメージがあれば教えてください。	部隊別勉強会は、同日・同場所ではなく、各部隊との調整のうえ実施します。 所要時間はおおむね半日程度を想定していますが、内容は訓練時間帯における各部隊の役割や配備要員の状況（新任職員の割合等）により異なると想定しています。
7	「5（5）訓練当日のコントローラー」については、何名程度をイメージされていますか。	令和4年度は、各部隊から1名以上のコントローラーを確保しましたが、適切に状況付与・プレイヤーからの問い合わせ対応をしていただければ人数の指定はありません。
8	「5（6）訓練当日のプレイヤー支援」については、何名程度をイメージされていますか。 災害対策統括部の組織図から、各部隊にではなく、特に統括部隊（総括部隊、総務広報隊）に重点を置くことも重要であると考えますがいかがでしょうか。	訓練状況や状況付与の内容から重点的な対応をとっていただくことは可能ですので、その旨ご提案いただければと思います。 ただし、訓練検証のための活動状況把握にもつながると考えているため、プレイヤー支援が全く行われない部隊が生じないようにご留意ください。 なお、人数の指定はありません。
9	「5（7）訓練検証の実施支援」については、検証資料の作成と改善点・提案等を報告書にまとめるとい	「訓練検証の実施支援」の成果物としてはお見込みのとおりです。なお、検証資料の作成にあたっては、

	<p>う理解でよろしいでしょうか。 この際、訓練後研究会を行う計画はありますか。</p>	<p>各状況付与への対応の進捗状況等を確認のうえ行ってください。 訓練直後には、各部隊で15～30分程度の反省検討会を行い、反省検討用紙を作成していますが、より効果的な手法があればご提案ください。</p>
10	<p>「5（9）打合せ協議」については、オンラインによる打合せ協議も想定してよろしいでしょうか。この際、貴県がお使いのWEB会議システム等の指定はありますか。</p>	<p>打合せ協議はZoomまたはWebexによる対応が可能です。</p>
11	<p>これまで、または最近の貴県の災害対策本部訓練の実施状況や実施概要、訓練成果・課題等について、教えてください。</p>	<p>近年では以下の災害を想定し訓練を実施しています。 令和4年度 南海トラフ地震（発災直後） 令和3年度 風水害 令和2年度 南海トラフ地震（発災24時間後） 訓練成果・課題については以下の常任委員会説明資料をご確認ください。 【令和4年度第1回】 <a href="https://www.pref.mie.lg.jp/communication/content/001039626.pdf">https://www.pref.mie.lg.jp/communication/content/001039626.pdf</a> ※所管事項説明（3）に記載あり。 【令和4年度第2回】 <a href="https://www.pref.mie.lg.jp/communication/content/001064556.pdf">https://www.pref.mie.lg.jp/communication/content/001064556.pdf</a> ※所管事項説明（4）に記載あり。</p>
12	<p>業務の背景について 三重県総合図上訓練は過去にも開催されていると業界団体を通じて聞いております。過去はどのような開催状況であるか教えてください。</p>	<p>過去の訓練実績については、番号11のとおりです。</p>
13	<p>業務の背景について 三重県総合図上訓練は、三重県ホームページを伺うに、年によっては2</p>	<p>各訓練の課題については、訓練評価者の評価や訓練参加者の反省検討から把握しています。</p>

	<p>回開催され、1回目開催時の課題を踏まえて2回目実施されているようです。課題は誰がどのように認識し、2回目に向けてどのように改善等が行われ、その効果はどのように計測してきたのか、当時の資料を教えてください。</p>	<p>具体的な課題の内容や課題をふまえた訓練項目については、番号11でご案内した資料をご確認ください。</p>
14	<p>業務の背景について 三重県総合図上訓練は過去にも開催されていると業界団体を通じて聞いております。過去は業務委託により進められていたのでしょうか。あるいは、自衛隊OBなど訓練に長けた方に作業指示されていたのでしょうか。</p>	<p>近年の総合図上訓練は職員による企画・運営で実施しており、業務委託は行っていません。 なお、一部の状況付与作成やコントローラーは、県内市町や防災関係機関にご協力いただいています。</p>
15	<p>コンペ参加仕様書関係 「事業の目的」に、「県災害対策本部の評価・検証を行い」とありますが、受注者が評価・検証を行い、過去に行われていた訓練評価者は参画しないものと考えて良いのでしょうか。</p>	<p>受注者による評価・検証は業務委託仕様書5(7)訓練検証の実施支援のとおりお願いしますが、訓練統括監(県災害対策本部長等)及び訓練評価者による訓練当日の講評は受託者による評価・検証とは別途実施予定です。 なお、訓練評価者の手配は委託業務外とし、県が行います。</p>
16	<p>コンペ参加仕様書関係 プレゼンテーションはどのような方が審査員をされるのでしょうか。過去に行われていた訓練の評価者が審査されるのでしょうか。</p>	<p>企画提案内容の審査は県職員6名(防災対策部職員4名、防災対策部外職員2名)で実施します。</p>
17	<p>コンペ参加仕様書関係 プレゼンテーションの質疑応答の時間は何分でしょうか。</p>	<p>質疑応答は、1社あたり10分以内を予定しています。</p>
18	<p>仕様書「4 総合図上訓練の概要」(5) 訓練参加予定者のうち、「内閣府」はどのような役割で参加させるのか教えてください。</p>	<p>I S U T等との連携を想定しています。</p>

19	<p>仕様書「4 総合図上訓練の概要」(5) 訓練参加予定者の人数規模、および各部隊の人数について教えてください。</p>	<p>令和4年度第1回三重県総合図上訓練の訓練参加者は、知事を含め331人(県254人、市町32人、関係機関45人)でした。</p> <p>また、各部隊の人数は、総括部隊約70人、社会基盤対策部隊約40人、医療保健部隊約20人、救援物資部隊約20人、被災者支援部隊約30人、生活・経済再建支援部隊約20人でした。</p>
20	<p>仕様書「5 業務の内容」 (3) 事前説明会及び全体研修会は、(4) 部隊別勉強会に先だって実施されるものと考えてよろしいですか。</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>
21	<p>仕様書「5 業務の内容」 (4) 部隊別勉強会は、過去はどのような内容で実施されていたか教えてください。</p>	<p>内容は部隊によって異なりますが、収集すべき情報・入手元、各部隊で実施すべき対策、部隊内の役割分担等の確認を行っています。</p>
22	<p>仕様書「5 業務の内容」 (5) コントローラーを配置する「各部隊」とは、別紙の災害対策統括部組織図に記載の7部隊(総括部隊、社会基盤対策部隊、保健医療部隊、救援物資部隊、被災者支援部隊、生活・経済再建支援部隊、警察部隊)でよろしいですか。</p>	<p>お見込みのとおり、組織図に記載の7部隊が対象になります。</p>
23	<p>仕様書「5 業務の内容」 (8) 事業実施等報告書について、想定される分量(ページ数等)をお教えてください。</p>	<p>内容が網羅されていればページ数の指定はありません。</p>